

地域で育み、地域で育つ河合っ子

福井市河合小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	21回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	99人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	121人
登下校支援ボランティア (下校見守り) 約1000人	
その他 (読み聞かせ)	33人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

具体的活動内容

地域の人材や地域教材を学習活動の中に積極的に取り入れ、地域の人々との関わりの中で、伝統文化に触れたり、農業体験や親子学級などを通して児童の情操を高めていく。また、その体験学習を通して、学習意欲を高め、主体的な学びへと結びつけていくことをねらいとした。

①校内凧あげ大会 (地域の伝統活動)

河合地区は凧づくりが盛んで、地域の大きな凧あげまつりもある。地元の「凧の会」の方には学年の凧づくりや凧づくりクラブの指導をしていただき、11月10日には凧あげ集会と大会をひらき、一人ひとりが作り上げた凧を全校一斉に空高くあげることができた。



親子凧づくり教室

②「河合地区ふしぎ発見」学習

毎年、3年生は、地域のことを知ろうという学習を行っている。地区のお年寄りの方を招いて質問会を行い、またお年寄りとの交流会も開催し、交流を深めるとともに、昔の出来事など多くのことを教わり、地域への思いを深めた。

③農業体験活動 (地域の各団体やボランティアの参加を得て)

本校では、全学年が野菜や米作りなどの農業体験活動に関わっている。その体験活動には、地元のJAや農業団体、子育て支援委員会、保護者等の多くの方の支援を得ている。授業ボランティアに教わりながら、学校の畑での野菜作りや、水やりなどの世話、そして収穫の喜びを味わった。また、JA・農業団体の方には田植えや稲刈りの作業を体験させていただき、育てることや食の学習を継続的にやってきた。

④PTA活動との連携

PTA活動として親子学級がある。各学年毎に休日を利用して親子の絆や、保護者同士の交流を深めている。こども歴史文化館や金津創作の森に行ったり、県立武道館での武道体験や地域のそば打ちグループの協力を得てそば打ち体験をしたりした。子との共通話題も増え、学校と家庭、地域が連携した教育環境づくりやPTA活動の活性化につながった。

成果と課題

中学校区のテーマ「心を育てる活動の充実」を意識した取り組みであった。体験学習や地域の人材は欠かせないものとなってきている。新教育課程の完全実施に伴い、行事においても活動内容においても試行錯誤の一年となったが、地域に根ざした活動は定着化してきた。

総合的な時間の減少や学習内容の増加に伴い、時間的に事前・事後の学習が難しくなっている。内容、実施方法等さらに工夫が必要となっている。また、教育活動に、より多くの地域の人々が参加しやすく、また、必要性を十分考えた取り組みの工夫が必要となっている。

